

あとがき

今回初めて役員になる方、地域活動を始めたいと考えている方、是非この冊子をお読みにになり、今後の活動の一助としていただければ幸いです。

柏市としましても、ふるさと協議会や連合会、地域協働を考える会と一丸になり、皆様の活動を支援していきたいと考えております。

最後になりましたが、この度冊子の作成にあたり御協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

柏市地域支援課

後継者不足に悩む町会や自治会、区がたいへん多い中、これから活躍される役員の方々に向けた応援メッセージ「役員体験談」をご執筆頂いた皆様方には御礼申し上げます。ありがとうございました。

役員の皆様方は、地域のために、自らが率先して多くの苦労や困難を乗り越え、活動を進めておられることが分かります。その活動の原点は「人と人をつなぎたい」との想いであり、「多くの人と顔見知りになれた」「町会等に入っていて良かったと言われた」という事だけで、報われたと語っています。

これから町会等の役員として就任される方は、気負わず地域の方々とのコミュニケーションを楽しみながら、活動を進めては如何でしょうか？

柏市地域協働を考える会

楽し地域活動のコツ

- 1)活動3割、楽しみ7割
- 2)人と接することを楽しむ
- 3)深追いしない
- 4)寛容のこころ

発行日 平成30年4月1日
発行元 柏市地域協働を考える会
連絡先 柏市逆井433 深津英雄
☎ 04-7174-2483

はじめて、町会、自治会、区などの役員になった方、これからなる方への応援メッセージ！

柏市町会、自治会、区など 役員体験談



平成30年4月

柏市地域支援課

柏市地域協働を考える会

【小冊子作成にいたった思いについて】

柏市地域協働を考える会と柏市地域支援課とで、取材活動を行う中、多くの町会で困りごとの上位にランクされる「役員のなり手不足」、具体的には「次期町会長を引き受けてくれる人がいない」ことは、深刻な問題になっていると受け止めています。

その原因としては、以下が上げられます。

- 町会役員が何をやっているのか分からないし、自分にとってメリットが無い。
- 引き受けた場合どんな問題があるのか分からず、不安である。
- 仕事をしているので町会に拘わっている時間がない。

その一方、上記障害を乗り越え、引き受けた方達からは、以下のよう前向きなご意見をいただきました。

- 町会全体のことが良く分かり、地域のことに関心が持てて良かった。
- 幅広くお付き合いができて、リタイヤ後の人間関係や趣味に広がりができた。
- 当初想像していたような問題は殆ど無く、あっという間に任期を終えた。
- 機会があれば、また引き受けることもやぶさかではない。 等々

そこで、これらの前向きな方々の貴重な御意見を「役員体験談」として小冊子にまとめ、役員のなり手不足に悩んでおられる町会へ配布し、次期役員を引き受けていただきたい方にお渡し頂き、少しでも御本人の不安を解消し、飛び込んで来ていただけるような材料になればと考えています。是非、ご活用下さい。

【目次】

1. 小冊子の作成にいたった思いについて	1
2. 柏市町会、自治会、区など役員体験談	
1) 課題は多いが、元気をもらうことも多い（酒井根町会）	3
2) 正区長をきっかけに広がった地域活動（緑ヶ丘町会）	5
3) 地域に貢献することの大切さ（松葉町四丁目第二町会）	7
4) 「誰かのための活動」であることを忘れずに（西山町会）	9
5) まず「話をよく聞くこと」が一番大切（柏ビレジ自治会）	11
6) 地域活動に携わって（あかね町会）	13
7) 主役は住民、会長や役員は裏方（中新宿町会）	15
8) 問題解決に努力すれば感謝され、多くの方と知り合いに（松ヶ丘町会）	17
9) 柏に移り、役員から町会長を終えるまで（柏市中央部）	19
10) 人との繋がりが広がり、自分自身も成長（柏市南部）	21
11) 父から勧められて町会長に（柏市南部）	23
12) 町会長としての心がけ（柏市南部）	25
3. あとがき	27



※町会等名称および町会等会長名の無い体験談は、匿名希望です。

課題は多いが、元気をもらうことも多い

町会等所在地	酒井根地域
酒井根町会	会長 阿部 孝
世帯数	1997世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

仕事生活に区切りが見えかけた頃、町会とご縁を得ました。2人の子供がこの地で育ったこと、また私ども夫婦がこの地を「終の棲家」としたことから、機会があれば何か恩返しをという気持ちが後押しをしました。

【役員として実務を進めた時の印象】

双葉マークをつけスタートして5年。定年を迎えて地域に戻った人、未だ現役の勤め人、この地で生まれ育った人、主婦など様々な経歴の人たちと、そして中には、身体に不自由さを持ちながら、また家族の介護を続けながらの人もいました。共通しているのは、みんなこの地域に愛情をもっていることです。

一般的にボランティア活動は、しっかりした事務組織によって支えられることは困難です。わが町会もしかりで、活動マニュアルも、組織の運営ルールもいまひとつ。何をどこから手をつければよいのか、よく見えないこともあります。また年間を通して、市役所の各部署や保健所、警察などの行政機関から多くの文書がやってきます。各種委員の推薦、会議、研修会の案内、イベントへの参加要請など、主体的に事業を進める前に、こなさなければならないことが多く存在します。

こう申し上げますと、町会の活動は大変そうに聞こえますが、かえってあちこち頭をぶつけることで地域の姿

や会員の顔が見えてきて、案外楽しいものです。更にはこれまで全く異なる世界に生きてきた人々が集い、喧嘩ゴウゴウするのですから、耳にすることが新鮮で楽しくないわけがありません。

【引き受けて良かったこと】

そんな仲間との活動は、テーマの多くが生活課題なのでから困難はつきものです。しかし、不安を感じる事はなく、元気をもらうことが多いです。

【町会活動の課題】

ただ困っていることがひとつあります。町会は今、人手不足なのです。近隣センターへ出向くと、趣味や芸事の団体の活動紹介やイベント案内が所狭しにあり、各人が好きなことに取り組んでいる証拠で、喜ばしい限りです。ところが、地域のため、他人のためという組織には人は集まってきません。活動に魅力があるないという視点を越えた所に課題があるように思うのです。

日本にお金ジャブジャブあった頃、政治家の人気取りもあってか、福祉政策も教育施策も個人にお金を配って幸福に近づこうとしました。この時、地域への役割(期待)は大きくなかったのです。財政が逼迫した今になって地域は皆で支えあってという話しになっています。

解放された欲を抑えて、みんなが集い助け合う世界を作るには時間がかかりますよね。嘆いていても仕方ありません。永遠とも思えるこの課題に、息長く取り組んでいくことにいたします。

正区長をきっかけに広がった地域活動

町会等所在地	富里地域
緑ヶ丘町会	会長 鴻巣 光毅
世帯数	480世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

昭和46年に結婚して緑ヶ丘に居を構えてから約30年間、町会には全く関心もなく、仕事と趣味に精を出し、地域のことはすべて女房に任せて過ごしていました。そんな私が町会に関わるようになったきっかけは、区長になったことでした。18年前のことです。当時は会社勤務で、書道の会やバイクのツーリング・クラブにも属し、多忙な日々を過ごしていたので、区長になっても、町会行事等には相変わらず女房が参加していました。そんな折、町会から「旦那も夏休みぐらいあるだろう」と言われ、平成11年7月の役員会に出席したのが、初めての関わりでした。

【役員として実務を進めた時の印象】

1年目に正区長（町会の役員）となった後は、2年目に専門委員、3年目以降は副会長として平成21年度まで務め、平成22年度から町会長に就任し現在に至っています。平成21年度には、富里地域ふるさと協議会（以下、富里ふる協）の広報部の委員となり、富里ふる協と初めて関りを持ちました。富里ふる協を構成する7町会の町会長は、必然的にその副会長となり、文化部や体育部といった専門部の活動を担当することになっています。また、その7人の副会長が輪番で2年間の会長職に就くことになっています。私は平成27年度と28年

度の2年間、会長を務めました。それまでに副会長を5年経験した後の会長職だったため、極めて幸運な巡り合わせだったと思います。

【引き受けて良かったこと】

これまで町会の仕事を意気揚々と続けられたのは、町会に長年尽力してきたある方の町会での働きぶり、その生きざまに感動し、その方にぞっこん惚れ込んだことによるものです。私が町会長に就任した平成22年4月から29年3月までの間、その方から助言や励ましを受けたお陰で、諸々の職務に邁進することができたと思います。

60年に1度しか巡ってこない区長で正区長となり、町会長を8年間務め、町会や富里ふる協との関りは19年になります。緑ヶ丘町会や富里ふる協において、多くの方々と親しく地域活動に取り組んでこられたことに大きな喜びを感じるとともに、これまで関わった方々に深く感謝しています。



地域に貢献することの大切さ

町会等所在地	松葉地域
松葉町四丁目第二町会	
世帯数	642世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

松葉町の「北柏ライフタウン」の一角をなす当団地には、17棟の集合住宅に700戸弱の世帯が暮らしています。このうち約9割、630戸余りの世帯が町会の構成員となっています。

当町会では各棟のルールに従って25名の役員が選出されます。任期1年ですから毎年全員が入れ替わります。私もこのルールにより、平成29年度の町会役員となりました。そろそろ順番が来るとは思っていたのですが、この町をこうしたいとか、町の発展のためにはこうすべきだとの思いがあって役員になったわけではありません。従って、心の準備がないまま前役員の方々から引継ぎを受けた時には、この先どうなるのかという不安と大変なことになったという思いがありました。

【役員として実務を進めた時の印象】

総会で正式に町会長に選出され、町会活動に携わることになりましたが、一時あと1年の我慢などと不届きな考えが胸に兆したのも事実です。しかし、いざスタートしてみると、柏市行政当局やふるさと協議会との連絡調整、間近に控えているいろいろな行事の計画、その他待ったなしに持ち込まれる複雑で煩雑な様々な問題に付き合っているうちに、大変だなど言うてはいられなくなり、どっぷりつかるとなりました。他の

役員の皆さんも、私と同じような経験をされたのではないかと思います。

ともかく、最初の行事である松葉町夏祭りが始動したのです。この夏祭りは、町民の皆さんが楽しみにしている、最も主要な行事です。これをうまくやれるかどうか、つまり、町民の皆さんに気に入られるかどうか、町会役員が試されることになるのだと、当初はかなり緊張していましたが、幸いなことに、町内の支援者の皆さんから応援を頂きながら何とかやることができたのではないかと思います。

夏祭りを通じて、役員同士の連帯も緊密になり、町民の皆さんとの交流が深まったことは大きな自信につながりました。町会の運営に関して、世代間による意見の相違などがありましたが、互いに誠意をもって話し合い解決することができるという見通しが立ったことでホッとしています。後半の主要行事である消防・防災訓練、炊き出し訓練についても、祭りのときの経験が活かされ、何とかやりきることができたと思っています。

【引き受けて良かったこと】

これらの二つの行事を経験して、町会活動がいかにか町民の皆様方にとって大切であるかを知ることができましたし、役員としてこれに参加することができたことは、とてもいい経験になりました。他の役員の皆さんも同じ思いでおられると思います。役員に選出されたときの不安な気持ちは消えて、やってよかった、とさえ感じられるまでになりました。せつかく体得した、地域に貢献することの大切さ、楽しさを胸に残る任期を全うし、次期の役員の皆さんへうまく引き継げればよいと思います。

「誰かのための活動」であることを忘れずに

町会等所在地域	酒井根地域
西山町会	会長 牧添 初
世帯数	720世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

「相談したいことがあるので時間を作ってほしい」当時の町会長からの電話でした。「今年もきたか。断り続けてきたが、今年はまだ断わるわけにいかないだろうな」と、考えていたこともあり素直に引き受けることにした。

【役員として実務を進めた時の印象】

それまでも、特定の課題を手伝ったりしていたこともあり、雰囲気、課題等ある程度理解しているつもりでもあったので、特別不安はなかった。

就任に当たっては、「町会は、政党、政治団体等のように、ある種のイデオロギーに支配された団体とは異なり、町民の意思が全てであり、町会の役員の仕事の多くは、町民の判断材料を提供することである」を運営原則にしようと考えた。

そして、引き受けるときは4～5年は継続しなければ、何もできないと考えていたので、5年継続することを前提に課題解決に取り組むことを考えた。

就任して分かったことは、考えていた以上に高齢化が進んでいたことである。そして、このことが町会運営に大きな影響が出ていたことである。それまで行ってきた定例的な行事等については継続しつつ、進む高齢化を踏まえた、運営体制の構築を喫緊の課題として取り組みを開始した。解決には時間を要するが、負担を軽減しながら、

効率的な運営方法を探してゆきたいと考えている。

役員は決して気楽な役割ではないが、意思決定に必要な正確な情報と的確な材料を提供したうえで、最終的には町民の意思に従うと考えれば難しい役割でもない。手掛けた未解決の課題もあることから、あと数年は継続したいと考える一方、長期担当の弊害も考えながら次期への引継ぎ時期を見極めたいと考えている。

町会活動のような、いわゆる市民活動は、目に見えた役得は決してあるものではないし、あってはならないと思う。それが見えてきたときは、市民活動ではなくなってきた時であり、その活動団体は解消するべきであると考えている。

【引き受けて良かったこと】

このような活動で、唯一の褒美は良い友人、良い知人が得られることである。そのためには、「誰かのための活動」であることを忘れずに、まじめに、遇直に取り組むことであると思う。



まず「話をよく聞くこと」が一番大切

町会等所在地 田中地域
柏ビレジ自治会 会長 竹田 徹
世帯数 1574世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

私が役員を引き受けるきっかけは、班長さんから「竹田さんは新しく引っ越して来られたので自治会の役員を引き受けていただけませんか？」というものでした。何も考えず即座に「いいですよ」とお答えしました。

その後、当自治会では4月に総会がありその場で役員が選任される訳ですが、その前に会長さんから、総務部長に予定していた人の体調が悪いので、副部長を予定していたが部長を引き受けてくれなかつたとの打診があり、これも即座に了解しました。私は能天気かもしれませんが心配・不安等は一切ありませんでした。

【役員として実務を進めた時の印象】

総務部長としての職務は引継ぎがあったものの何をしていたのかわからず約半年は手探りの状態が続きました。他の部長さん達も初めての経験で同じような状態であったと記憶しています。

引継ぎの時、総務部の最大の業務は総会準備との話を聞いていましたので、12月に入り総会の準備に着手し4月の総会に向けて色々な手続きを行いました。今でも予算表の作成にパソコンと格闘した日々を思い出します。思ったより業務量が多いとの印象が強いです。今後業務量の削減を考える必要有りとの認識を持っています。柏ビレジ自治会では役員の任期は1年なのですが、総会

準備に着手し始めたころ、会長さんから来期の会長を引き受けてくれないかとの打診がありました。最初はお断りしていましたが、何度も要請されるうちに一度くらいはやってもいいかと思うようになりお引き受けしました。

【引き受けて良かったこと】

会長職を引き受けてからはや3年が経とうとしていますが、特に1年目に心掛けたことはあらゆる場に出席する事でした。田中地区の集まりには必ず出席し、そのおかげでふる協の皆さんや地区の町内会長さん達とのつながりが出来ました。また、柏ビレジにはいろいろなボランティア団体がありますが、顔を出せる団体には極力顔を出すようにし、知り合いを増やしました。

このつながりは、私にとって宝物だと思っています。

会長職はいろいろな考えをお持ちの方々の中にあつて、それを纏めていかなければならないところに大変さがあるのですが、まず「話をよく聞くこと」が一番大切であると思っています。その上で皆さんのご協力を得て対処すれば「何とかなる」のではないのでしょうか。まずは行動ありきとも思っています。自治会役員は私生活に制約を受けることが多々ありますがそれ以上に物事を成し遂げた後の達成感も大きいと感じています。

【これからの課題】

現在の自治会は、少子高齢化の進展とともにいろいろな課題を抱えています。その一つ一つに自治会役員等の皆さんのご協力を得て、地道に対処するとともに、会長の後継者をどのようにして発掘するかが今の私の最大の懸案事項です。

地域活動に携わって

町会等所在地 新田原地域
あかね町々会 会長 久米 正宏
世帯数 345世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

町会長(7年目)を引き受ける前に、理事(班長)、副会長各1年、を経験した。班長の時に、当該班の自宅付近が高台にあるのに、豪雨時に排水がうまく行かず、地域道路全体が著しく冠水することがあり、これを解消すべく、市に陳情活動するための案を作成する役を担い、活動に加わったのがきっかけで、そのままずると深みにはまった。幸い、運動の甲斐あり、行政側の動きもあり早期に問題解決が出来たのも大きなきっかけ。

【役員として実務を進めた時の印象】

副会長時代に、お一人暮らしで、近所付き合いの希薄な方が孤独死されたことがあったが、お隣の家のご家族の日常的な見守りに救われ、程なく近親者との連絡が取れ、事なきを得たことがあった。まだこの温かさが残る内に、向こう三軒両隣関係を修復出来たらと思った。また、東日本大震災以前から、町会員の災害時対応策として、早期にK-Netを利用した安否確認が出来る体制整備の必要性を強く感じていた。

【引き受けて良かったこと】

- 1) 地域で多くの人を知り、触れ合い、顔と名前が一致出来るようになり、声を掛けられる機会が増えた。

- 2) 自身の役が多さが、かえって皆さんの協力が、得られるように、なっていること。
- 3) 楽しさを味わえるまでにはちょっと時間が掛かったが、「活動3割楽しみ7割」を、実践出来るようになったこと。

【町会活動の進め方】

- 1) 何をやっているかをタイムリーに情報伝達する機会を、出来るだけ多く持つ。
- 2) 短期間に結果を出すことは難しいが、少しずつでも進んでいることを実感し、皆が喜びを感じるようにする。
- 3) 「出来る人が、出来る時に、出来る活動」をする「サポーター制」のように、多くの人に参加して貰える仕組みを考える。
- 4) 「ないもの」「できないこと」でなく「あるもの」「できるもの」に注目して進める。
- 5) 「バカ・カバ・ちんどん屋」「リーダー役・サポート役・PR役」の存在が絶対的に必要。
- 6) 次を担う人にバトンタッチする時期を考えて行動する。これが一番の問題だが、何とかそうしたい。



主役は住民、会長や役員は裏方

町会等所在地 光が丘地域
中新宿町会 会長 宮里 幸子
世帯数 1210世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

私が町会長を引き受けたのは平成16年4月です。その前は、柏市を中心に婦人大学や健康づくり推進員等多くの場で精力的に活動していました。地元の中新宿には馴染みが無く無関心でしたが、地元の有志の方々から、町会の状況を変えて欲しい、力になって欲しいと懇願され、平成12年に町会の組長、副会長として関ったのがはじまりです。組長として関わった2年間に、町会は何なのか？役員だけの町会？運営の不透明さ、情報伝達の不備による住民とのあまりにもかけ離れた距離感、住人の町会に対する無関心さを目の当たりにしました。この状況をなんとかしなければ、町会の存在が危ぶまれると危機感を覚え、私のできることをやってみようと思いついたのが、町会長になったきっかけとなりました。

【役員として実務を進めた時の印象】

第一にしたことは、役員に私と言う人間を理解して頂くために、町会長としてこんな町会にしたいという想いや考えを、しっかり話し合いました。仕事を始めてからは、不安や心配事を皆で共有しながら、進めることが出来るようになりました。一つ一つやりがいを感じながら①町会センターの全面改装と機能の見直し、②意識改革の広報活動、③住民の仲間づくり・コミュニケーションの場の設置、④生活支援活動ハッピーサポートの実施、

⑤役員、ボランティア公募制の取り組みなど、多くの事業に取り組み、新しい町会を作ることが出来ました。

【引き受けて良かったこと】

町会長となり、役員、組長、関係団体が一丸となり取り組んできたことにより、皆さんの町会に対する協力はもとより、町会の必要性や役割についても意識が深まり、人間関係が密になりました。毎年、役を変わる時に、ひとりひとりに感想を言う機会があり、「組長をやった1年で町会のこと良く、分かった」「人との会話がなくなった」「挨拶を交わす人がなくなった」「町会の大切さを知った」「町会の仕事を手伝えて楽しかった」等など、本音で話して下さる方々がたくさんいます。そのような言葉を毎年、聞けることに、感謝と喜びと安心の気持ちを持つことができました。

【これから】

私は、町会に住んでいる方々が、町会を理解し、協力して下さる中で、「この町会に住んで良かった」「住んでいて安心だ」と思ってもらえ、出来れば家族のような関係になればと常に願いながら、もう少し新しいことに取り組んでいきたいと思っています。

【私が思う町会長とは】

1. いつも自分は自然体で、町会全体を見守っている
2. 自分の「信念」「想い」をしっかり持ち、「人と和し」どのようなことにも「誠意」を尽くす
3. 失敗を恐れない
4. 主役は住民、会長や役員は裏方との想いを忘れない

問題解決に努力すれば感謝され、多くの方と知り合いに

町会等所在地 高田・松ヶ崎地域
松ヶ丘町会 会長 矢島 誠一郎
世帯数 560世帯

【はじめに】

私共の町会は、全域を25のグループに分けて運営され、町会役員は全体で12名を選出しますが、多くのグループで順番制となっています。12名の中から7名の三役を決めるのですが、殆どの方が、高齢、親の介護、子供の世話、仕事等様々の理由で固辞されます。私の時も、話し合いの中で、副会長、書記、会計は決まりましたが、会長だけは引き受け手がなく、時間が過ぎて行きました。

【役員等を引き受けたきっかけ】

私は、当時常任委員として月に1度の役員会と、夏祭りの準備への参加程度で、町会全体の課題等についても特に関心を持たずに1年間の役目を終わろうとしていました。会長が決まらない中で、現会長から、私に会長就任の要請がありました。当時の私は、平日は仕事で夜遅く、土日しか地元にはいないという生活だった関係もあり、町会長の役割などを殆ど知らずに参加していたので困惑しました。しかし、前会長が顧問となって相談に乗ってくださること、これまでも多くの方が2年交代で会長を務め、未経験でも何とかやってこられたこととお聞きして、皆さんに相談しながら努力すれば大丈夫かなと思いき受けました。

【役員として実務を進めた時の印象】

会長になってみると、ごみ置き場の事、排水溝の事と、伸びすぎた草木の事等々、町会員から直接電話を受けました。そうした苦情等に対して、皆さんのお話をよく聞き、必要に応じて市役所に相談し、早目に手を打つこと、進捗状況について都度ご報告する事等を心掛けてきました。あるとき隣接するグループが対立し、双方から意見が出てきたのには困りましたが、両グループの方に集まって頂き、話し合いの場を設け双方に譲りあうよう促し、会長として「町会で出来ることはやります」との約束をするなどした結果、不満を残しつつも結論を得ることができました。町会の皆さんの苦情や不満の多くは、町会内での対策や、市役所にお願いすることで解決します。会長は問題点を把握し、解決に向けた対策へ導く役割です。市役所が町会からのお願いごとをきちんと受け止め、すぐ対応して頂ける体制になっていることは予想外でした。

【引き受けて良かったこと】

問題が解決すれば、皆さんから感謝されますし、最良の解決でなくても、その努力を見ていただいて、納得していただけます。また、近隣の町会で構成する「ふるさと協議会」では、活動を通じて近隣の町会長さんと知り合いになれ、多くの助言もいただきました。役員の方はもちろん、それまでお話ししたこともなかった町会内の多くの方と顔見知りになり、皆さんがお持ちの知識や技術で助けてくださることもあります。会長にならないと知り合うこともなかった多くの皆さんと、親しくお話ができる関係になれたことは、良かったと思います。

柏に移り、役員から町会長を終えるまで

町会等所在地	柏市中央部
世帯数	約50世帯

【はじめに】

1984年に国道16号と6号が交差する呼塚にほど近い地域に移転してきた。当時は呼塚の交通量の激しさに流石に驚いたのを記憶している。その当時から町会があり、それなりの規約もあったと思うが、その時私は、45歳で仕事も超多忙であり、仕事先も大半が東京方面であったため、町会の行事等殆ど知る由も無かった。

【役員等を引き受けたきっかけ】

以来、16年が過ぎた頃、柏市も町会毎に区分され、又、各町会役員の手合会合や行事があることを見聞した。役員への誘いをきっかけに、時間を見つけて規約を読み、行事にも少しずつ参加し、遅まきながら先駆者に年間の参加時間の配分を相談し、自分なりに妻とも話し合いながら、現在の仕来りに溶け込んでいった。一方で、自分自身の生活と重複して時間的に大丈夫か不安もあった。

2000年を過ぎた頃に、町会役員に指名され、役の一端を担うことになった。その後、2014年より町会員多数の推挙により図らずも小さな町会であるが、町会長に選出される運びとなった。

【役員として実務を進めた時の印象】

以来、ふるさと協議会や地区社会福祉協議会の会合や集会には先輩町会長に仲間入りをし、町会長と合わせて環境部次長、会計監査の3つの役職に従事することになった。概ね、会議や行事に参加し、柏市のコーディネー

タやふるさと協議会の会長をはじめ先輩役員に混ざり、柏市の20地区の内、我が地区の今後に向かって進むべく方向付けを学び、僅かではあります自分なりに小さな自信を感じた。

【引き受けて良かったこと】

私は町会長を1期2年の約束で引き受けたが、他町会の会長や、市役所の職員また教育関係の先生方、ある時は芸能関係等のそれぞれの専門分野の方々とのお会合や訓話を聞く機会も多くあり、またふれあい祭りや文化祭等で自分には出来ない特技を身近に拝見出来た。現在、自分たちが生活し、来生に向かって多くの友人・知人ができたことは、我が人生に掛け替えのない大きなプラス財産となっている。この地域で生活をし、少なくとも町会長としての役を頂いたことは、思い出話になるのではないだろうか。

町会長は、地域内で行事やレクリエーションを行うに当たり、会員を適材適所に配置して各自に委ねると、会員は喜んで真剣に最後までやり遂げてくれる。そこにも親睦の輪が広がることを学ぶことができた。

【再任の要請があったときの気持ち】

私は、町会長を2年間の約束で引き受けた筈だったが満期終了後、1期2年再度町会長をと町会員総意の申し出を受け、自分の年齢と体調を照らし合わせて自分なりに決断をし、継続して4年間町会長として務めることとした。拙い町会長ではあるが、この地域で老若男女を問わず、町会員が子細な事項でも会長あてに相談され、そして全員で解決出来たことは素晴らしいことと思った。

【これから】

私も今年で78歳の年齢を重ねた。「飛ぶ鳥後を濁さず」の譬えもあるので、この辺で後輩にバトンタッチをし、今後は自分たちが歩んだ良き経験のみを来世に伝えることばできれば満足である。同時に、町会および地域内の今後の益々の発展を願いたい。

少子高齢化が急速に向かっている中で、若い方々が地域活動に1人でも多く参加してもらうことは、たいへん喜ばしいことであり、時代に沿った発展に繋がるのではないだろうか。



人との繋がりが広がり、自分自身も成長

町会等所在地	柏市南部
世帯数	約300世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

3年前の役員改選（前町会長退位のため）時は、町会長の引受け手がなく、くじ引きで班長から決める雰囲気になったが、町会の会計を10年程経験していたので、やむなく手を挙げることにした。

自分の職業経験からして営業が長く、他人と接することにより知識が広がり、何よりも自分自身の成長に寄与していると思うので、役員になる前の不安より、“何とかなるさー”との思いで前向きに考えることにした。

【役員として実務を進めた時の印象】

町会長の仕事は、仕事勤めと両立は結構しんどい事もある。ふるさと協議会・町会の定例会議準備及び参加、行事計画・施行、市役所への各申請手続き等多岐にわたる。町会長一人で全て行うことが前提だが、何かあった時に、他の役員の協力を得られる様なチームワーク作りも必要である。

【引き受けて良かったこと】

何よりも、人との繋がりが広がり自分自身の成長と、地域住民との顔見知りが増えた。

【これから】

私ども町会世帯数は、約280世帯で頭打ちになるが町会を将来継続していくには、長老経験者の協力も必要だが、若い世代の人に町会活動を経験して頂き、興味を持ってもらうが必要と思われる。

老人会、子供会、各サークル（グラウンドゴルフ、健康マージャン、カラオケ等）を通じて、住民同士のコミュニケーションを活発に行い、地域の支え会になれば最高と思う。



父から勧められて町会長に

町会等所在地域 柏市南部
世帯数 約100世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

私共の町会は、柏市の中でも南の端にあり、近隣の歴史ある町会に囲まれ、設立して16年の町会です。立ち上げ時はまだ80世帯位いで、設立運営委員もその中から募り7名で始まりました。私もそこから関わるようになり、いろいろ勉強させていただきました。年々世帯も増えて115世帯になり、町会長を選ぶことになって、父から「こういうことは最初にやっておいた方がいいぞ」と言われそのまま一年半、町会長の役に就きました。その時に地域との関連の大切さを知りました。

この経験で、町会の皆さんにもなるべく地域に関わって欲しいと思い、班長さんの中から会長を選び毎年の輪番としました。これなら必ず毎年一人は、地域で経験を積んでいくことができると思っていました。ところが町会長の仕事というのは、町会の中のことだけでなく、ふるさと協議会への参加や民生委員、健康づくり推進員の推薦等、外との関わりも多く、とても負担になると言われてしまいました。確かに毎年交代するのですから中には、不向きな方もいらっしゃるし、私もこの段階で数年地域と関わっていたので、もう一度会長を引き受けることになり、自分のことより人のことを大切にす父から勧められて、町会長になり10年を越えました。

【引き受けて良かったこと】

町会長をやらせて頂いて「良かったこと」は沢山あります。色々な方々と知り合えたこと等。不思議なものでここまで来ると、町会が子供を育てていく様な感覚になって、今年は何を計画しようかとワクワクしています。

【現在の状況とこれから】

町会設立から16年も経つと町会の平均年齢も47歳を超え働き盛り。夫婦共稼ぎが多くなり自分の家のことだけで、精一杯というところが現在の状況だと思います。毎年の総会で私は必ずご主人達に、今から少しずつでも町会や地域に関わってみませんかと声掛けをしています。奥様方は子供のPTAから始まり、地域に関わっていくことが多いのですが、ご主人達にはなかなか近所の方たちとの関りもあまりないという状況で、いざ仕事をリタイヤした時に何もすることがないというのでは、つまらないですよ。

私の町会では班長が役員も兼務しているのですが、班長は一人ではなく、その家族全員が班長さんなのです。そうすることによって、責任の軽減、家族の結束も生まれるのではないかと、この形式にしています。一班だいたい15軒位なので、今ではほとんどの家が班長、役員を経験しました。これはまた挑戦なのですが来年度から、班長の仕事の中から、役員を取り除き回覧を回す事と町会費の集金のみとし、書記、会計、企画等は今までの経験者の中からこの運営の仕方に賛同してくれる人に声を掛けて進めていきたいと思っています。この賛同者が年々増えていく事が私の希望であり、理想です。

町会長としての心がけ

町会等所在地 柏市南部
世帯数 約1100世帯

【役員等を引き受けたきっかけ】

町会長を引き受けて4年になる。前任者は、町会長を22年間も務め、柏市や町会に多大な貢献をされていた方だった。その方が「誰も町会長の引き受け手が無くて困っている。」という話をされていた。前任者は町会長以外の様々な団体や機関の役員を兼務されていたが「外部の事は引き続きお願いして、私は町会の事だけでしたら」という事で気軽に引き受けた。

【役員として実務を進めた時の印象】

ところが、前任者が急に体調を壊され亡くなってしまい、「何でも聞けばいいか」と思っていたため、1年目は困った。町会内の行事等は、私より経験のある役員が大勢いて、彼らがほとんどやってくれたので助かった。外部の事は前任者一人でやっていたので、細かい引継ぎも無く多少苦勞した。

【町会長としての心がけ】

1) 我が町会の収入構成は、町会費などが6割、補助金交付金等が3割、その他寄付金や事業収入が1割である。補助金交付金は申請主義なので、申請漏れが無いように気を使った。6月の町会長会議の時に配布される「町会・自治会役員の手引き」は大変参考になった。また近隣の先輩町会長には「貴町会はどうやっているの?」と聞き、良い所はどんどん真似をさせてもらった。

2) 町会活動は、外部の活動も含めて毎年同じ様に進んでいくので、2年目からは余裕が出来た。柏市では1年交代の町会が半分以上と聞いているが、1年で交代では、苦勞ばかりで面白くも何ともない。現役の方には無理は言えないが、リタイヤされている方はなるべく長く継続される方が良いと思う。

3) 毎月の役員会では、町会内外で起こった事を丁寧に報告する様に心がけ、また柏市への要望などは何でも言ってもらっている。町会長が言うと、柏市は出来ることは早く確実に対応してくれる。町会長の言葉は、一個人ではなく、バックに多くの住人の声があることを柏市も分かっているからだと思う。但し「ペット問題」だけは、当事者に直接に保健所へ連絡してもらっている。ペットは飼っている人は家族同然であり、飼っていない人は迷惑な存在である事もあり、法的には「生き物」ではなく「物」という微妙な問題だからだ。

4) 最近私は、柏市のホームページを活用している。柏市のホームページは良く出来ており、トップページの上の方にあるサイト内検索にキーワードを打ち込んで検索すると、関連記事や連絡先などが一発で出てくる。それを読んでから連絡すれば「この人は良く知っているな」と相手の対応も違って来るかもしれません。

